



Saiseikai
Maebashi Hospital

issue 08

January.2026



PICK UP DOCTOR 八木 直樹 | 外科

八木医長と広報委員による座談会

TOPICS

- 1 採血自動受付機を導入しました
- 2 楽しみながら学ぶ感染症対策の基本
- 3 文化祭で感じた地域のあたたかさ
- 4 リレーフォーライフに参加しました
- 5 超音波診断装置を更新しました

第35回ぐんまマラソンにて
左から) 中道医師、古家医長、鈴木部長、相馬看護師、石井部長、八木医長

PICK UP
DOCTOR

八木 直樹

Yagi Naoki

外科 医長

今回、外科の八木医長と広報委員による座談会を行いました。手術や診療のことはもちろん、外科医としてのやりがいやチーム医療についてもお話しいただきました。

真剣さの中に温かさが感じられる、充実した時間となりました。その一部を誌面でご紹介します。

川原田: 本日は、国内外の3つの学会で優秀な成績を収められた八木先生に、膵臓外科のお仕事や受賞の裏側、さらにはマラソンのお話まで幅広く伺いたいと思います。よろしくお願いします!

八木: よろしくお願ひします。

受賞について

川原田: まず、国内と海外の学会でのご受賞について伺います。今回の演題はどのような内容だったのでしょうか?

八木: 膵頭十二指腸切除術における手技の工夫と、術後合併症を減らすためにやってきた取り組みをまとめた内容です。臨床データと手術の工夫を“安全性と再現性”が伝わるように示した点を評価していただけたのではと思います。

川上: 準備が相当大変だったという噂も聞きましたが…?

八木: そうですね(笑)。症例の選定や動画編集にかなり

時間がかかりましたし、発表直前までスライドを微調整していました。夜中まで作業したり、スタッフに意見をもらったり…本当にチームで作り上げた発表でした。



▲肝臓・膵臓内視鏡外科研究会でU-40 Award最優秀賞をW受賞した石井部長(左)と八木医長(右)を讃える細内院長(中)



八木医長が第10回アジア太平洋肝膵胆道学会(A-PPHBA)と第56回日本膵臓学会で受賞
上) A-PPHBA の賞状
下) 日本膵臓学会の賞状および表彰盾



▲ A-PPBA(タイ)での国際学会発表 世界に向けて、当院の取り組みを発信

川原田:本番は緊張されましたか？

八木:質疑応答はやっぱり毎回ドキドキします(笑)。ただ、“患者さんのために工夫してきた技術を届けたい”という気持ちが背中を押してくれました。

川上:受賞が決まった瞬間のお気持ちは？

八木:驚きが大きかったです。積み重ねてきた工夫が評価されたのだと思うと、嬉しさよりもまず感謝の気持ちが湧きました。

川原田:3つの学会で結果を残せた理由は何だと思えますか？

八木:特別なことをしたわけではなく、一例ごとに丁寧に振り返って少しずつ改善する姿勢をチーム全体で続けてきたことだと思います。ロボット手術は看護師さんの器械出しや助手の動き、カメラワークなど多職種の協力があって初めて“伝わる動画”になります。自分が前に出るというより、チームで積み重ねてきた日々が形になったと感じています。

膵臓外科の仕事・専門性

川上:先生が消化器外科を選んだ理由は何だったのでしょうか？

八木:外科は“自分の手で患者さんの状態を改善できる”

という実感があります。一つ一つの手術操作が患者さんの回復につながる。その手応えが外科の魅力です。ただ、それは外科医だけでは成り立ちません。看護師さん、麻酔科の先生、技師さんなど多職種の支えがあってこそ。“チームで治す”のが外科の本質だと思っています。

川原田:膵臓外科は難しいイメージがありますが、どんなところが難しいですか？

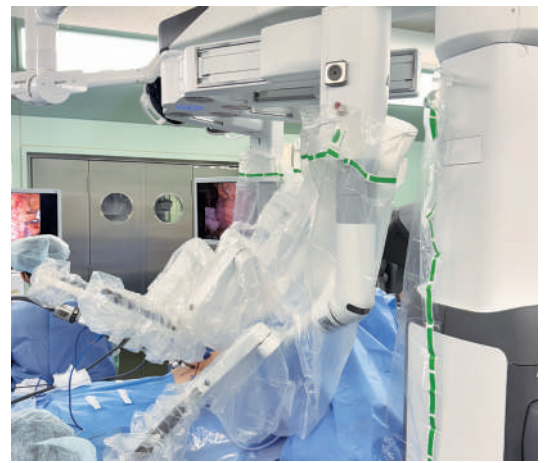
八木:一番の難しさは、同じ手術が一つもないことです。腫瘍の場所、血管の走行が毎回違い、“今日の患者さんにとって最も安全な方法は何か”をチーム全員で考え続ける必要があります。どれだけ経験を積んでも慣れは禁



▲広報委員の川上(左)、八木医長、川原田(右) 終始なごやかな座談会



▲ダヴィンチ(手術支援ロボット)を操作



▲チームで行う開腹手術の一場面

物で、看護師さんや麻酔科の先生の気づきに助けられる場面も多いです。

川上:これから強化したい技術や研究テーマはありますか?

八木:新しい術式や工夫を、“自分だけができる技術”ではなく誰が担当しても再現できる形にしていくことです。特にロボット手術では新しいアプローチが少しずつ形になってきているので、標準化や手順の整理、研究としての検証を進めたいと考えています。

当院の外科チームの魅力

川原田:当院の外科チームの魅力を教えてください。

八木:最大の魅力は、“患者さんにとって最善の医療を提供する”という一点で全員がまとまっているところです。まず、現在のロボット手術の発展は、細内院長が現場の声を尊重し、導入を決断してくださったことが大きな原点です。また先輩方が、経験に関係なく“良い手術のための議論は遠慮なくやろう”という文化を作ってくださったことで、若手でも意見を出しやすい環境があります。そして手術室の看護師さんをはじめ、多職種の支えがあって初めて良い医療が成立します。新しい手技を導入するときにも、一緒に学び、改善案を出してくださる存在で、本

当に心強いです。毎日、“一人の技術ではなく、チームの力で医療が成り立っている”と実感しています。

体力づくりとマラソン

川上:長時間手術が多い中でマラソンを続けているのはすごいですね。ぐんまマラソンも完走されたそうで!!練習はどれくらいされていますか?

八木:マラソンは、鈴木部長に誘われたことをきっかけに始めました。大会前は週3〜4日走っていましたが、今は少し頻度を落としています。ただ、短い時間でも体を動かす習慣は続いています。“完璧にやろうとしない”ことも継続のコツです。

川原田:手術にも役立っていますか?

八木:長い手術では体力よりも“精神的な持久力”が重要です。運動を続けていると頭のクリアさが全然違います。

川上:メンタルリセットの方法は?

八木:一番は子どもと遊ぶ時間ですね。どんなに疲れていても、顔を見るだけで気持ちが軽くなります。

人柄が伝わる話題

AWARDS



▲Seoul National University Bundang Hospitalの教授であられるHo-Seong Han先生との1枚

川原田:自分へのご褒美はありますか？

八木:お蕎麦と日本酒が好きなので、休みの日は、近くのお蕎麦屋さんに食べにいきます(笑)。

読者へのメッセージ

川原田:最後に、地域の皆さんへメッセージをお願いします。

八木:脾臓は症状が出にくい“沈黙の臓器”とも呼ばれます。年に一度は検診を受けていただき、体重管理・禁煙・適度な運動といった基本的な生活習慣を続けていただくことが健康維持につながります。これからもチーム一丸となって地域医療に貢献していきたいと思います。

川上:本日はありがとうございました！

八木:ありがとうございました。



座談会を終えて…八木先生の専門性だけでなく人柄の魅力まで感じられる時間になりました。脾臓外科への思いや受賞の裏側、マラソンの話まで幅広く聞くことができ、私たち広報側も大変刺激を受けました。読者の皆さんにも、外科チームの力強さと先生の温かさが伝わる内容になったと思います。

(広報委員:川原田・川上)



▲2025年4月 ダヴィンチ手術300症例達成



年頭のご挨拶

院長 細内 康男

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は済生会前橋病院の運営に関しまして多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございました。お陰様で多くの患者さんに来院頂き、急性期病院として地域から信頼される活動を継続することができました。

済生会は明治天皇の「済生勅語」を理念として、明治44年発足の「恩賜財団済生会」が原点の全国組織であり、83病院・20診療所と302の福祉施設等で構成され、67000人が働く日本最大の社会福祉法人です。群馬県支部に属する群馬県済生会前橋病院は、地域の拠点病院としてロボット支援腹腔鏡下手術、白血病治療、肝胆膵治療等多くの高度専門医療の提供、救急・災害医療の充実とともに生活困窮者への無料低額診療（全受診者の10%以上に実施）を活動の3本柱としています。

本年も医療・介護・予防医学の分野はもちろん、きめ細やかな社会支援など、社会福祉法人としての役割を果たすとともに、今後もさらに質の高い高度専門医療を提供できる体制づくりに努めてまいります。

今後も引き続き済生会前橋病院へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

楽しみながら学ぶ 感染症対策の基本

12月19日、上毛スクエアで上毛新聞社主催の「脳活サロン」が開催され、感染管理認定看護師・櫻井師長が講師として登壇しました。講演では、インフルエンザや新型コロナウイルスの流行状況を踏まえ、日常生活で役立つ感染症対策の基本を分かりやすく解説しました。正しいマスクの着脱方法や手洗いのポイントに加え、蛍光塗料を使った手洗い体験では、実体験を通して理解が深まり、参加者が笑顔で取り組む姿が印象的でした。質疑応答では家庭内感染対策など身近な疑問にも丁寧に対応し、「ウイルスを完全になくすのではなく、減らす意識が大切」と呼びかけました。身近なテーマを楽しく学べる機会となり、参加者にとって日常生活を見直すきっかけとなる時間となりました。



採血自動受付機を導入しました

外来採血室では2025年10月より採血自動受付機を2台導入し、患者さんで自身で受け付けして頂く方法に変更しました。外来基本カードのバーコードを読み取らせることで受け付けが完了し、番号付き整理券と必要に応じて尿コップが自動で出てきます。これにより受付業務の効率化と待ち時間の短縮、待ち時間の目安の把握が期待されます。

(検査科 村上 裕美)



TOPICKS

トピックス

リレーフォーライフに参加しました

10月11日(土)、12日(日)、当院は今年もリレーフォーライフに参加しました。参加者一人ひとりの想いがつながるあたたかい雰囲気を感じることができました。毎年参加する中で、がんと向き合う方々や支援する方々の力強さを改めて実感する貴重な時間となっています。



文化祭で感じた地域のあたたかさ

11月8日・9日に開催された東公民館文化祭に、今年も当院は健康チェックブースを出展し、私は初めて参加しました。血圧測定・血管年齢測定・ベジチェックを中心に、2日間で300名を超える方にご利用いただきました。地域のイベントに立つことに少し緊張もありましたが、当院が続けてきた取り組みに自分も加わることがうれしく、どこかワクワクした気持ちで当日を迎えました。多くの方が訪れ、「こういう場所があると安心するね」と声をかけていただく場面もあり、その言葉に元気をいただきました。また、忙しい中でもスタッフ同士が自然に声を掛け合いながら進められたことはとても心強く、病院として地域と向き合う“チーム”の温かさを実感しました。来場された皆さまとの触れ合いを通して、地域とのつながりの大切さを改めて感じる、貴重で充実した2日間となりました。

(広報・情報課 奥泉 幸亮)



超音波診断装置を更新しました

当院の腹部超音波検査室に設置されている超音波診断装置は、自動車事故被害者救済のために日本損害保険協会の寄付金を受けて整備いたしました。

■納入日:令和7年12月8日

■機器名称:キャノンメディカルシステムズ

■超音波診断装置 Aplio a Verifia(MODEL CUS-AA000)

■特徴:Full Focus機能・Wide View機能

■使用効果:本装置は、Full Focus機能・Wide View機能を搭載しており、高画質で全体像を見渡すことが可能となりました。また、バッテリー駆動であると共に小型であるため、救急医療の現場における迅速簡易超音波検査(FAST)に大変有用な医療機器となっております。





あったらいいな、こんな病院

今年も地元の小学生から、「あったらいいな こんな病院」をテーマにした絵画が約300点届き、約2か月間にわたり外来フロアへ展示させていただきました。

可愛らしく自由な発想にあふれた作品がフロアを彩り、癒しと元気を届けてくれました。

ご応募いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

今年度の病院賞を受賞した4作品をご紹介します。

現在は、病院賞・なでしこ賞を受賞した児童の皆さんの作品(コピー)を整形外科外来の待合室に展示しています。

ステキな病院の絵画が
たくさんだったよね



★★★★
病院賞

受賞作品



前橋市立東小学校 5年1組 鈴木 駿斗さん



前橋市立東小学校 2年1組 廣澤 芭和さん



前橋市立大利根小学校 6年2組 丸橋 泰志さん



前橋市立新田小学校 1年1組 江村 維真さん

尿定性検査について

尿定性検査に適しているのは中間です。中間とは、下の図のように最初と最後の尿は採らないで中間部分を取ったものです。これにより細菌などの混入を防ぐことができます。

【尿定性検査でわかる項目】

pH	尿が酸性かアルカリ性かをみています。
比重	尿を濃くしたり薄くしたりする能力を知ることができます。
白血球	腎臓や膀胱で炎症があったときに陽性になります。
潜血	肉眼では見えない程度の出血（赤血球）があることを示します。腎、膀胱炎、前立腺炎などで陽性になります。
亜硝酸塩	尿中に細菌がいたとき陽性になることがあります。
ウロビリノーゲン	肝機能障害や便秘があった場合などに陽性になります。
ビリルビン	ウロビリノーゲンと組み合わせて、肝機能の病態を調べています。
タンパク	腎機能障害があると陽性になります。しかし、腎疾患のない方でも激しい運動後、ストレス、発熱などにより一時的に陽性になることがあります。心身の状態により変動のある項目です。
ケトン体	飢餓、嘔吐、下痢、脱水、重症糖尿病などで陽性になります。
糖	一般的に血糖値が高いとき（170mg/dl以上）に陽性になります。しかし、加齢などによって血糖値が高くなくても陽性になる場合もあります。

基準範囲

pH: 5～8 比重: 1,005～1,030 白血球: (－) 潜血: (－) 亜硝酸塩: (－)
ウロビリノーゲン: (±) ビリルビン: (－) タンパク: (－) ケトン体: (－) 糖: (－)

【中間尿の採り方】

最初の尿



コップに入れない

中間の尿



コップに入れる

最後の尿



コップに入れない



【缶詰と炊飯器でお手軽！鯖大根】～EPA・DHAが摂れる！～

一年中出回る大根ですが、旬は冬で寒いほど甘みを増して美味しくなります。サバ缶は生のサバに比べてカルシウムや必須脂肪酸（体内で合成できない）であるEPA、DHAが豊富です。EPA、DHAはコレステロール合成の抑制が期待出来ます。サバ缶を汁ごと使うことで、汁に溶け出したEPAやDHAを無駄なく摂ることが出来ます。



【材料 4人前】

大根	1/2本(600g)
サバの水煮缶	1個(180～200g程度)
おろしショウガ	小さじ1(5g)
醤油	大さじ1(18g)
酒	大さじ1(15g)
みりん	大さじ1(18g)
水	200g
七味唐辛子	お好みで

【作り方】

- ① 大根は皮をむき、1cm幅のいちょう切りにする。
- ② 炊飯器に①の調味料を全て入れ、大根とサバの水煮缶を汁ごと炊飯器に入れる。
- ③ 炊飯器の通常炊飯でスタートし、40分程度加熱する。
一度終了ボタンを押し、中の様子を確認して、煮汁が残っているようなら再度炊飯ボタンを押して20～30分加熱する。終了ボタンを押し、15分放置してできあがり。
- ④ 皿に盛り、お好みで七味唐辛子をかける。

【ポイント】ご家庭の炊飯器に合わせて加熱時間は調整してください。炊飯器への匂い移りが心配な方は通常の鍋や圧力鍋を使って調理してください。圧力鍋を使う場合は圧力がかけたら弱火で10分ほど加熱して、火を止めて圧力が完全にぬけるまで置くとよいでしょう。

【栄養価(1人前)】

エネルギー	133kcal
たんぱく質	8.9g
脂質	6.5g
炭水化物	9.8g
塩分	1.2g
カルシウム	168mg



レシピ動画は
←こちら！



ありさわ整形外科

院長 有澤信義 **診療科** 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

当医院は、整形外科専門医院であるとともに、街のホームドクター(かかりつけ医)も目指しております。一般整形外科のほかに、スポーツ整形外科にも対応可能です。特に日本手外科学会専門医として専門性の高い診療を行っています。

腰痛、五十肩、腱鞘炎、肩こり、むちうち症、膝関節痛、外反母趾、痛風、骨折、打撲、捻挫、骨粗しょう症、股関節疾患、ひざの痛み、ひじが痛い、肩が痛い、うでがあらがない、手がしびれる、指が痛い、交通事故など整形外科一般の診察・治療・リハビリテーションを行っています。手術に対するセカンドオピニオンなど、お気軽にご相談ください。当医院で対応できない症状や病気に関しましては、大病院と連携し、専門治療の必要な患者さまは速やかに紹介させていただきます。



	診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前	9:00-12:30	●	●	×	●	●	●	●
午後	15:30-18:30	●	×	×	●	●	×	14:30 16:30

・休診日 水曜、祝日、火曜午後、土曜午後
北高崎駅より車10分、高崎駅より車20分

住所 群馬県高崎市内小埜町769-3

TEL.027-387-0511



外来医師診療表

【午前】受付時間:8:30～11:00(診察開始:9:00) ※総合内科(初診)以外は予約制 【午後】完全予約制
◆休診日◆ 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

2025年12月1日～		月	火	水	木	金
総 合 内 科	午前	直田	直田	直田	齋藤	齋藤
	午後	—	—	〈再診〉齋藤	〈再診〉直田	〈再診〉直田
血 液 内 科	午前	星野	—	飯野	高田	初見
	午後	—	高田 初見 星野 飯野 明石 OH	—	—	—
腎臓リウマチ内科	午前	馬場	高梨 [CKD外来]木村(10:30～紹介)	三島	三島(9:30～紹介)	—
	午後	木村	—	—	—	三島
内分泌・糖尿病・肥満症内科	午前	—	石田*	—	—	荻原
	午後	荻原	—	青木*	荻原	—
呼 吸 器 内 科	午前	—	河俣	宇津木	河俣(第3休)	—
	午後	宇津木	—	—	—	宇津木 〈再診〉河俣
消 化 器 内 科	午前	【消化管(胆・膵)】中野	【肝臓】畑中	【胆・膵・胃】吉永 【胆・膵】吉田	【胆・膵・胃】田中 【大腸】蜂巢	【胃・大腸(胆・膵)】迫 【肝臓】金山
	午後	—	—	—	【肝臓】畑中・金山	—
循 環 器 内 科	午前	池田 館野	中野 福田 戸島 布施	中野 福田 戸島 布施	中野 館野 土屋 布施	池田 土屋 【睡眠障害外来】(第5休)福田・直田
	午後	【禁煙外来】池田 (現在休診中)	—	【 ^h —ス—カー外来】池田 【弁膜症・先天性心疾患外来】館野	—	—
外 科	午前	【胃・大腸・ヘルニア】藍原 大木 古家	【肝胆膵・大腸】細内 【乳腺】鈴木 【肝胆膵】石井	西田 【膵癌専門外来】細内 【胃・大腸・ヘルニア】藍原 大木 八木	【胃・大腸・ヘルニア】藍原 【食道】鈴木 古家 中道	【肝胆膵・大腸】細内 【肝胆膵】石井 【肝胆膵】八木
緩和ケア外来	午前	—	—	—	—	石井
ストーマ外来	午前	○	—	○	○	—
呼吸器外科	午前	—	茂木	—	—	茂木
整 形 外 科	午前	後藤 長谷川 工藤	中島 丹下 有澤	中島 大谷 工藤	長谷川 有澤	後藤 大谷 丹下
	午後	—	—	—	—	【脊椎】井野*(第3)
リハビリテーション科	午前	白倉	白倉	金谷*	白倉	白倉
	午後	—	【装具外来】	—	—	—
眼 科	午前	中村【第1・3・5特殊検査のみ】	中村	福地* 中村	中村	中村
泌 尿 器 科	午前	鈴木*	—	—	—	—
麻酔科ペインクリニック	午前	〈術前外来〉中島	〈術前外来〉中島	〈術前外来〉中島	〈術前外来〉中島	〈ペインクリニック〉中島
緩和ケア内科	午後	—	平山	—	平山	—
栄養サポート外来	午前/午後	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○
療 養 指 導	午前/午後	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○
フ ッ ト ケ ア	午前/午後	—/○	—/○	—/○	—/○	○/—

※整形外科・麻酔科ペインクリニック・緩和ケア内科は**完全予約制**です。 【*：非常勤医師】
※担当医は変更することがあります。

お問い合わせ 027-252-6011(代表)

交通のご案内
●新前橋駅よりバスまたはタクシーで10分
●前橋駅よりバスで20分
●高崎駅よりバスで40分
●前橋市コミュニティマイバス(100円)もご利用いただけます。

患者さんへ
●人間ドックのご予約: **TEL.027-252-1959**直通(検診センター)
●紹介状をお持ちの方は、事前予約(総合内科以外)をお願い致します。
TEL.027-252-1751 直通(地域連携課)
介護関連
●入所・通所に関するご相談: **TEL.027-254-0108**(老人保健施設あずま荘)
●前橋市高齢者福祉サービスのご相談・介護保険サービスに関するご相談
TEL.027-255-1511(居宅介護支援事業所あずま荘)

